

名古屋大学大学院生命農学研究科
応用生命科学専攻（応用酵素学研究室）助教公募要領

1	募 集 件 名	助教（テニュアトラック）の公募
2	所 属	大学院生命農学研究科応用生命科学専攻応用酵素学研究室
3	募 集 内 容	<p>[職務内容（業務内容、担当科目等）]</p> <p>名古屋大学大学院生命農学研究科では、生命科学の基盤の拡充、生物機能・生物資源の高度利用、生命共生環境の創出・保全、および持続的生物生産と先端生命科学の技術開発を通して環境に調和した人類の発展を目指す総合的な学問分野として「生命農学」を位置づけ、創造的な研究活動によって真理を探究し、生命農学に関して世界屈指の知的資産形成・蓄積と継承に貢献することを使命としています。</p> <p>応用生命科学専攻は、農学分野における多様な生命現象の機構を最先端の生命科学と分子科学の理論と技術により解明し、その応用展開の基盤を作るための研究教育を推進することにより、食・環境・健康の増進・向上に貢献することを目的としています。その中で応用酵素学研究室は、主に微生物由来の酵素を対象とし、それらの生体における機能と、その基盤となる反応機構や制御機構を分子科学的・構造化学的な方法論により解明するとともに、生物関連産業への応用を目指した研究を推進しています。</p> <p>本助教（テニュアトラック）公募では、上記分野に関連した研究で優れた成果を挙げつつあり、当該研究室の教員と協力して研究を進め、研究室および専攻、研究科のさらなる発展に貢献する人物を求めます。また、学部・大学院における教育と研究指導に強い熱意と責任感、協調性をもって取り組むことのできる人物が望まれます。</p> <p>【担当する業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学院生命農学研究科および農学部における教育と研究 ・大学院生命農学研究科および農学部の運営に関連する業務 <p><担当授業科目></p> <p>(1) 大学院</p> <ul style="list-style-type: none"> ・博士前期課程：生命農学演習、酵素学特論、修士論文研究等 ・博士後期課程：博士論文研究 <p>(2) 学部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・応用生命科学実験実習、専門セミナー、卒業論文研究等 <p>※本募集では、研究業績、教育業績、社会的貢献、人物等の評価において同等と認められた場合には、女性を積極的に採用します。</p>

		[勤務地]	愛知県名古屋市千種区不老町
		[募集人員]	助教（テニュアトラック）・1名
		[着任時期]	2024年7月16日以降のできるだけ早い時期
4	募集研究分野	中区分／小区分	農芸化学／応用微生物学関連、応用生物化学関連 分子レベルから細胞レベルの生物学およびその関連分野／機能生物化学関連、構造生物化学関連
5	勤務形態	常勤（テニュアトラック） 任期5年 ※本学テニュアトラック制度により、審査の上、合格した場合はテニュアを付与	
6	応募資格	[必要な特定分野の資格・条件（学位などを含む）・専門性等の詳細] ・博士学位を有している者、または着任までに取得予定の者 ・応用酵素学に関連する研究業績を有すること ・大学院と学部における教育と研究指導に、熱意と責任感、協調性を持って取り組むことができる者	
7	待遇	[採用後の待遇（給与、勤務時間、休日、雇用期間、保険等）] ・東海国立大学機構職員就業規則の定めるところによる。 https://education.joureikun.jp/thers_ac/act/frame/frame110010928.htm ・給与は、東海国立大学機構名古屋大学年俸制適用教員給与規程による年俸制 https://education.joureikun.jp/thers_ac/act/frame/frame110001585.htm	
8	応募期間	2024年1月25日～2024年3月29日（正午必着）	
9	応募・選考結果通知連絡先	[応募方法（提出書類の送付先）] （1）応募する旨を明記した書類（応募者の連絡先、電話番号、電子メールアドレス等を含む） （2）履歴書（様式自由、年号は西暦で表記） （3）研究業績リスト（原著論文、総説、著書、特許、その他に分類し、番号を付けてください。原著論文の責任著者に*印を付けてください。） （4）現在までの研究の概要（1,000字程度、研究業績リスト番号を引用のこと） （5）今後の研究に関する計画と抱負（1,000字程度） （6）大学院・学部における教育に対する考え方と抱負（800字程度） （7）大学における社会連携、国際協働についての考え（400字程度） （8）過去の研究費獲得状況（科学研究費補助金等の競争的資金について、代表と分担に分けて、名称と直接経費の額を明記のこと。年号は西暦で表記すること。）	

- (9) その他（教育実績、学協会関連活動、社会貢献など選考の参考になる事項）
- (10) 類型該当性の自己申告書と類型該当判断のフローチャート
(<https://www.agr.nagoya-u.ac.jp/general/fefta.html> から様式をダウンロードして作成すること。「10. その他」欄を参照のこと。)
- (11) 応募者について照会できる方 2 名の氏名、連絡先、電話番号、電子メールアドレス
- (12) 論文等の PDF ファイル（主要なもの 5 編以内）

[書類送付先]

- ・上記の提出書類（1）～（11）を 1 つの PDF ファイルにまとめ、主要論文の PDF ファイル（12）とともにフォルダに入れ、圧縮（ZIP 形式）したものを、以下のアドレスに添付で送信してください。
- ・メールのタイトルは「応用生命科学専攻応用酵素学研究室助教応募（氏名）」としてください。
- ・ファイルサイズは全体で 60MB を超えないようにしてください。やむを得ず超えてしまう場合は、複数のメールに分割し、その旨を明記してください。
- ・応募締め切りの 1 週間後までに応募書類を受領した旨の連絡（電子メール）がない場合には、委員長までお問い合わせください。

書類の送付アドレス（電子メール）：[kobo_enz\[at\]agr.nagoya-u.ac.jp](mailto:kobo_enz@agr.nagoya-u.ac.jp)

※ [at]を@に置き換えてください。

[問い合わせ先]

名古屋大学大学院生命農学研究科応用生命科学専攻
応用酵素学研究室助教選考委員会委員長

邊見 久

電子メール：[hhemmi\[at\]agr.nagoya-u.ac.jp](mailto:hhemmi@agr.nagoya-u.ac.jp)

※ [at]を@に置き換えてください。

※その他の問い合わせについても、委員長宛の電子メールにてお願いします。

[選考内容（選考方法、採否の決定）]

- ・書類選考の上、面接を実施することがあります。
なお、面接を実施する場合の交通費は自己負担とします。
- ・採否の結果については、原則、電子メールで連絡します。

10	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・本募集では、研究業績、教育業績、社会的貢献、人物等の評価において同等と認められた場合には、女性を積極的に採用します。 ※名古屋大学の取り組みについては下記をご覧ください。 http://www.kyodo-sankaku.provost.nagoya-u.ac.jp/ ・2021年11月「外国為替及び外国貿易法」(外為法)に基づく「みなし輸出」における管理対象の明確化に伴い、大学・研究機関における教職員への機微技術の提供の一部が外為法の管理対象となりました。 これに伴い、本公募に応募の際、「類型該当判断のフローチャート」に基づく「類型該当性の自己申告書」(https://www.agr.nagoya-u.ac.jp/general/fefta.htmlの「様式1」)の提出が必要となります。また、採用時には「誓約書」の提出が必要となります。 ・応募書類は、本選考以外の目的には使用しません。 ・応募書類は、本選考委員会が責任を持って処分します。
----	-----	--